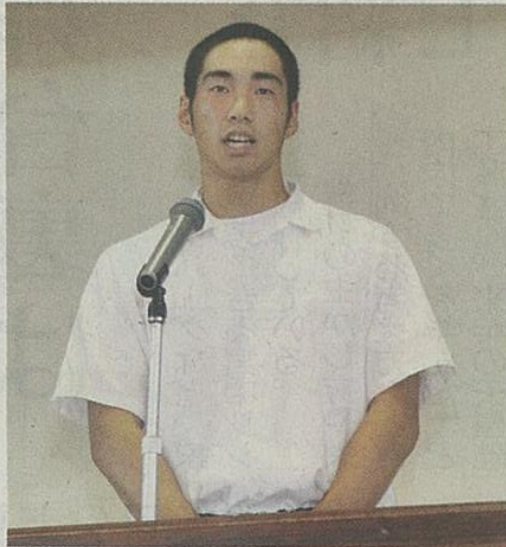


応援で「実力以上の力」

第100回全国高校野球選手権(5〜21日・甲子園球場)に青森県代表として出場した八学光星硬式野球部の仲井宗基監督と長南佳洋主将が22日、八戸市の同校で全校生徒に成績を報告し、温かい応援に感謝した。同選手権に2年ぶり9度目の出場を果たした光星ナインは、11日の初戦で明石商(西兵庫)と対戦し、延長戦の末、9―8で勝利。15日の2回戦では、龍谷大平安(京都)に1―14で敗

光星ナイン 全校生徒に成績報告



全校生徒に甲子園での成績を報告する
長南佳洋主将(22日、八学光星高)

れた。

八学光星の体育館で行われた報告会で仲井監督は「甲子園は自分たちに新たな課題を与えてくれた。敗戦の悔しさを晴らせるように頑張っていきたい」、長南主将は「100回大会に出場できたことに感謝の気持ちでいっぱい。声援のおかげで実力以上の力を発揮できた」と、それぞれ大会を振り返った。

また、仲井監督が9月3日から宮崎県で開催される「第12回BFA U-18アジア選手権」に出場する高校日本代表のヘッドコーチを務めることも報告。仲井監督は取材に「全国で勝つための何かを感じてきた」と意気込みを述べた。

この日は硬式野球部のほか、インターハイに出場した男子バスケットボール部、陸上部、ソフトテニス部、レスリング部、柔道部も成績を報告した。

(金濱千優希)